

Ⅲ 学童期の子どもをもつ保護者を対象にしたプログラム

Ⅲ-5 気づいてますか？ 子どものサイン！

対象：学童期の子どもをもつ保護者
時間：70分程度

ねらい	いじめや不登校といった問題の未然防止や早期発見のために保護者として気をつけたいことについて考える。		
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どものSOSやストレスサインに気づいた際の保護者としての対応の仕方を考えることができる。 ○ 子どものSOSやストレスサインに気づける保護者になるための日頃からのかかわり方の留意点を考えることができる。 		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ あらかじめ4～6人のグループに分かれておく。 (グループ編成は、参加対象を考えて編成し、仲のよい人ばかりで構成されないよう配慮する。) ○ 時計 ○ 筆記用具 ○ 付せん紙 ○ 模造紙 ○ マジック ○ 資料 ○ ワークシート 		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入	10分 ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク (自己紹介)	・自己紹介により互いに親近感がもてるようにする。	筆記用具
展開	10分 ワーク1 ・エピソードを読む。 ・エピソードから考えたことをワークシートに記入し、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ◎エピソードをもとに、子どものサインに気づくポイントと対応について考えていくことをねらいとする。 ・グループごとに進行役を決めて、交流し合う。 	
	15分 ワーク2 ・参加者自身の経験をもとにワークシートに書き込み、グループ内で話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どものSOSやストレスサインに気づいた時の保護者の対応について考えていくことをねらいとする。 ・子どものどんな行動や変化がサインなのかを考える。また、それらを解消するための保護者の対応についても考える。 ・書き込みが終わったら、進行役を中心に自由に話し合う。 	
	20分 ワーク3 ・進行役はテーマを読み上げる。 ・書き込んだ内容をもとに、グループ内で話し合う。 ・グループの意見を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どものサインを見逃さない親になるために、日頃からの子どもとのかかわり方のポイントについて考えることをねらいとする。 ・書き込みが終わったら、付せん紙に1項目ずつ記入して自由に話し合う。 (項目を分類し、グルーピングしてもよい。) ・グループごとに出てきた主な意見を分類し、発表する。 	付せん紙 模造紙 マジック
まとめ	10分 ふりかえり ・「わが家のオリジナルのチェックリスト」を作成する。 ・今日の学習で気づいたことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どものサインを見抜くポイントを考えることで、日頃からの子どもとのかかわり方を考えることをねらいとする。 ・ストレスサインチェック表を紹介した後、自分で意識したい項目を考える。 ・項目の数はいくつでもよいことを伝える。 ・今日の感想を記入し、話し合う。 	資料①
	5分 まとめ ・資料を提示する。	・サインを見逃すといじめや不登校等へつながっていくケースもあるので、日頃からの家庭でのかかわり方や親同士が仲良く連携すること、情報交換をしていくことが大切なことを知らせる。また、困ったら学校(教職員)や相談機関等へ早めに相談し、一人で抱え込まないように対応することも伝える。	資料②